

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	香港大学 The University of Hong Kong(国名: 中華人民共和国香港特別行政区)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Department of Electrical and Electronic Engineering, Faculty of Engineering	
留学期間	2015 年 9 月 ~2016 年 6 月	
学部/学府・年次	工学部	4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有 (期間:2016 年 4 月~2017 年 3 月 )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 大学院進学(九州大学 総合理工 学府)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	大いに影響しました	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>私が在籍していた工学部の電機電子工程系(電気電子工学科)の授業は、～力学や～論などの基礎的な部分を1,2年生で押さえた上で3,4年ではそれらを応用して、より実践的な内容(例えば「電気自動車の仕組み」、「送電技術の基礎」、「電気エネルギー変換技術」など)を学ぶ、という形になっていました。3,4年生向けの授業にはグループワークを中心とする授業も比較的多く、授業のはじめに基礎的な事項を学んだ後は学んだ内容やメンバーそれぞれの知識を生かしてグループ毎に作品を作るといったプロジェクト形式のものもありました。(私は取りませんが、受講している友人達は皆非常に楽しそうでした。)また、交換留学生には様々な分野の授業が開講されているので、この機会に自分の専攻だけでなく、興味のある分野に手を伸ばしてみるのもよいと思います。因みに私は工学部の授業だけでなく、香港の文化、経済や政治についての授業をとったりもしました。</p>	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>住居面: 寮に入れなかったため Cedars にアパートの情報を貰いに行きました。しかし提示された物件は殆どが家賃 10 万円/月を超えるもので、あまり参考になりませんでした。</p> <p>健康面: 大学内に歯科医院と病院があります。私は親知らずの抜歯のため、ここの歯科にお世話になりました。治療費は大学の外の歯科に比べて非常に安く申し分ないのですが、3 か月ほど待たされたので、ここで治療を受けることはあまり期待しない方がよいと思います。大学の外の歯科で治療を受ける学生向けに補助金制度がありますので、そちらを活用されると良いと思います。</p> <p>語学面: Language Exchange の形で、学びたい言語を母語とする学生と結び付けてくれる制度があったり、英語のライティングの添削指導を無料でしてくれる制度があったりしました。また普通話の上級コースは九大で受けていた授業よりもレベルが高く、短期間で語彙力や会話力などを大きく伸ばすことができました。広東語や他の外国語のコースについても充実していたので、外国語を学びたい人にとってはよい環境だと思います。</p> <p>勉学面: 基本的に授業の担当教官は親身になってくれると思います。わからないところがあったら分かるまで説明してもらえます。ただし、教授が熱心な学生数名に囲まれて質問攻めにあっている光景は何度も見たので、なかなか聞けないかもしれません。聞きたい事がある人はメールを送るか教授の自由時間を見計らって聞きに行きましょう。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>香港大学の学生は非常に勉強熱心で優秀でした。大学の世界ランクを見ると分かるように香港大学は東大や NUS とともにアジアトップを争っている大学ですが、学生の質もその世界ランキングに相応しいものだったと思います。少なくとも工学部の中では自分の周囲を見渡すと自分より成績が良い人しかいなかったような気がします。英語の運用能力だけでなく、そもそもの専門科目の学力も非常に高い彼らには正直圧倒されていましたし、そんな彼らに囲まれていると、自信を失ってしまいそうになる時も何度もありました。しかし、勉学面に限らず、彼らから学ぶことは非常に多く、常に成長できる環境に置かれていたことは幸せだったと思います。また、現地の学生の殆どが 3 つの言語(広東語、普通話、英語)を操り、4 つ、5 つの言語を流暢に話す人も多くいたことは、日本語のみに囲まれて育った私には衝撃的でした。大学の内外では他にも様々な言語が話されており、学内のサークルや国ごとのコミュニティをうまく活用して生活すれば、香港は言語を学ぶには非常にいい環境であると思います。様々な人に会うことができるというのも香港大学へ留学するメリットだと思います。これはどういうことかといいますと、アジアの学生だけでなくヨーロッパからの学生とも交流する機会が多いということ、そして、社会人とも日本より気軽に会えるということ、そして皆が近くに住んでいるので面会するときには時間的な制約を受けにくいということです。私は仲良くなったドイツ人やイギリス人の友人達と頻りにハイキングやキャンプに行き、彼らからはアジアの学生とは大きく違った価値観を学ぶことができました。また、日系企業の駐在員の方々や現地企業の方々と話す機会が多くあり、彼らの仕事内容や生活についての話を聞くことができたことは将来の進路を決める上での非常に良い判断材料になったと思います。香港の位置は中国本土、東南アジアなどへのアクセスが非常に良く、旅行の拠点としても活用できると思います。留学中は様々な場所へ行きましたが中国国内や東南アジアには日本から行くよりも格段に安く、早くアクセスできました。アジアへの旅行に興味を持つ人にとってはこの点においても大きなメリットがあると思います。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・履修登録はできるだけ早めに済ませましょう。人気の授業はすぐに枠が埋まります。</li> <li>・履修に制限がある授業もありますが(例えば「～という授業を受けて Passしていること」など)、担当教官の許可を得ることができれば履修することもできるかもしれません。(私はそれで3, 4年生向けの授業を受けることができました)</li> <li>・グループワークを含む授業の履修をする時は、かなり多くの時間をその授業の準備に費やすことになると考えておいた方がいいと思います。基本的に現地の学生にとっては GPA=命ですので、本科生だろうが交換留学生だろうが、基本的には皆同じだけの貢献を求められ、皆で良い成績をとるためにガッツリ取り組むことになると思います。</li> <li>・香港には本当に多種多様な人が集まっており、留学は色々な価値観に触れることのできる良い機会ですので、大学の中だけでなく、外の人とも積極的に関わるといいと思います。私は DimSumLabs というエンジニアやデザイナー、プログラマー等、モノづくりが好きな人が集まるラボに通い、ラボのメンバーから様々な技術を教えてもらったり、大学で学んだ知識を使った工作をしたりしました。また、日本人の商工会議所で社会人の話を聞き、就職についての情報収集をしたりもしました。他の日本人学生もイベントに参加したり、イベントを主催したり、社会人訪問に行ったりとそれぞれで活動しているようでした。どこに行けばいいのかわからないという人は Meetup などのサイトで、自分の興味のある分野の活動をしている団体を見つけるといいと思います。</li> </ul>
-------------------------------	--

<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港大学(大学が香港入境事務処への手続きを代わりにやってくれました。自分で中国大使館に行って申請するよりも楽だと思います。)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>香港大学の入学許可証、パスポート、お金</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>香港大学の入学許可証が届いてから約2週間程度</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>私は香港に来てから自炊する機会が少なくなり、外食の機会が増えました。大学に行けば比較的安価で朝食が食べられること、調理する環境があまり整っていなかったことがこの変化の主な要因だったように思います。特に、冷蔵庫がフロアで共有になっており、保存していた食材が頻繁に盗まれたことで調理する意欲を失ってしまいました。ただ、数多くの美味しいレストランを楽しむことができたことはよかったです。また、周りの多くの日本人と同じように、野菜不足になりがちだったので、外食時には積極的にサラダを注文したりしていました。</p> <p>時間がある日は友人達とサッカーをしたり、バスケットをしたりして体を動かしていました。良いランニングコースも沢山あったので、大学に行く前にランニングしたり、友人と夜景を見ながら歩いたりすることも多かったです。あの素晴らしい夜景を見ながら走ることができるのは香港に留学することで得られる一つのメリットだと思います。</p> <p>香港は小さいので(面積は東京都の約半分)、1年もあれば大体主な観光地は回れると思います。香港だけではちょっと物足りないと感じる人は、マカオやチューハイ、中山、深圳、広州など近くの都市にも足を延ばしてみると良いと思います。フェリーや鉄道などで簡単にアクセスできるので日帰りや一泊二日でも十分に楽しめます。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 10万 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:2.5(寮)万 円、 光熱水料:0円、 通学費:0円(九大に収めたものを除く)、食費:5万円、 携帯電話代:2000円、 インターネット代:0円、 書籍代: 5000円(殆ど電子書籍です)</p> <p>その他:(具体的に)交際費2万、</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) Floor fee: 2000円(年に数回)(寮のフロアごとに徴収されるもので、皆で使う洗剤や食器を買ったりするためのもの、フロアによっては毎回HKD500も取られていたところがありました。)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>ノートPC(これが無いとレポートを書けません)、出会った友人へのちょっとしたお土産、印鑑(奨学金の延長手続きなどで必要かも)、Kindle 若しくは電子書籍を読める何か(これは必須だと思います。書籍は重くて持っていけないので、電子化できるものは電子化して身軽に行きましょう。)コンセントの変換プラグは必要ですが、変圧器は要らないと思います。日本の携帯電話番号が無いと不便なことがたまにあるのでスマホには050plusなどのネット回線を使った電話アプリを入れて持っていくといいと思います。</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>町中では思ったより英語が通じないと思います。現地語の広東語以外では寧ろ普通話の方を耳にすることの方が多様な気がします。ですから渡航前には英語に加えて最低限の広東語、或いは普通話の知識を身に付けておきましょう。</p> <p>香港の歯科治療は非常に高額です。歯科治療の予定がある方は日本で治療されるか、歯科治療も補償に含まれる保険に入られることをお勧めします。(私が上下二本の親知らずの抜歯をした時は治療費が約8万円、九大に勧められて入った海外留学保険(10万ちょっと)は使えませんでした。)</p> <p>因みに他の選択肢としては非常に親切な価格設定の香港大学の歯科がありますが、人気な為か数か月待たされます。</p>

<p>お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>銀行口座を開くまでの始めの数か月間は、日本から持ってきた現金を重慶マンションで両替したり新生銀行のキャッシュカードや NeoMoney というプリペイド式のキャッシュカードを使ったりして現地通貨を調達していました。香港 ID を手に入れた後、HangSengBank で現地の口座を開きました。開設時には 1:Hong Kong ID,2:パスポート、3:香港の住所を証明する書類(英文)、3:日本の住所(本籍地)を証明する書類(英文)の4点が必要でした。因みに Hong Kong ID は学生証が手に入ってから WanChai まで申請に行く必要があります。大体みんな 10 月～11 月くらいに取得していたような気がします。また、3 と 4 に関しては大学の寮の学生ならば寮の事務室で発行してもらうことができます。寮の学生でなければ、3 については日本の銀行の残高証明の英語訳を持っていけば大丈夫だと思います。また 4 については英文で香港の住所が書いてある書類なら大丈夫とのことでしたので、各種請求書などでも代用できると思います。</p>
---	--

#### 4. 住居、生活環境

<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>Caritas Hostel (民間のアパート) (9/1～10/12)→Wei Lun Hall(大学の寮)(10/12～6/30)</p>	
<p>住所／電話番号</p>	<p>Caritas Hostel: Wei Lun Hall: 6D, Sassoon Road, Pokfulam, Hong Kong</p>	
<p>費用(月額)</p>	<p>Caritas Hostel: 4 人部屋個室なし 5000HKD/月、WeiLunHall:2 人部屋個室なし 約 10000HKD /年</p>	
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>香港に到着した 8 月の下旬の時点では家が決まっていなかったため、1 週間程度はホテルに滞在しつつ Cedars (香港大学の学生生活担当部署) や寮や民間のアパートと交渉していました。Cedars からの紹介で見つけた Caritas Hostel は管理会社に実際に告げられた家賃がチラシに記載してあった値段 (2600HKD/月) の 2 倍程だったので一旦やめようとも思いましたが、他に安くて良いところを探そうとできなかったため、住むことを決定しました。WeiLunHall については Cedars に何度もメールを送り、新学期が始まって約 1 か月半後に入寮することができました。</p>	
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>正直 Caritas Hostel はおすすめできません。家賃が 5000HKD (日本円で約 7.5 万/～8 万) と非常に高く、大学からも遠く、寮と比べると明らかに条件が悪いからです。WeiLunHall についてはおすすめできます。家賃が 10000HKD/年、寮の友人もできますし、大学へもシャトルバスが出ているので通学もそれほど苦にはならないと思います。ただ大学寮にもいろいろあり、他の Student Village にある寮の方が新しく綺麗だという噂も聞きました。入寮の申請をする時に希望をとられると思うので、各寮について場所・家賃・シングルかダブルか等、しっかりと調べた上で希望を書くようにすると思います (人気の所を書くところにも入れなくなる可能性もありますが…)</p>	
<p>留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>上にも書いたように、寮に入った方が時間的・金銭的・精神的余裕のある生活を送ることができると思いますので、是非寮をお勧めします。因みに長期間民間の狭いアパートで生活していた友人は部屋が狭すぎて安眠できないと嘆いていました。 とは言っても香港大学の寮は非常に競争率が高いです。そのため、部屋決めにはルールがあるようで、交換留学生は正規の学生や正規の留学生に比べて寮に入りにくいとのことでした。また先に入居許可を貰って入寮の申請をした人から部屋の割り当てがされるとのことでしたので、できるだけ早く入学手続きと寮の申請を済ませるようにしましょう。もし寮に入りそびれたとしても民間アパートの契約は 1～2 か月程度にしておき、9 月の中旬から出てくる空きを狙っていけばよいと思います。 ps.寮にはたまに深夜 2～3 時ころまで何か叫んでいる現地の学生もいたりしますが、それはおそらく寮の伝統ですので大目に見てあげましょう。</p>	

#### 5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
香港特別行政区入	<a href="http://www.immd.gov.hk/eng/index.html">http://www.immd.gov.hk/eng/index.html</a>	ここでビザの手続きをします

<p>境事務處</p> <p>香港大學 學生發展 生活及資 源中心</p> <p>Openrice</p> <p>Meetup</p> <p>DiscoverHK</p> <p>マニアック 香港</p> <p>香港日本 人商工会 議所</p>	<p><a href="http://www.cedars.hku.hk/">http://www.cedars.hku.hk/</a></p> <p><a href="http://www.openrice.com/zh/hongkong">http://www.openrice.com/zh/hongkong</a></p> <p><a href="http://www.meetup.com/find/">http://www.meetup.com/find/</a></p> <p><a href="http://www.discoverhongkong.com/eng/index.jsp">http://www.discoverhongkong.com/eng/index.jsp</a></p> <p><a href="http://maniac-hongkong.com/">http://maniac-hongkong.com/</a></p> <p><a href="http://www.hkjcci.com.hk/">http://www.hkjcci.com.hk/</a></p>	<p>寮の申請手続きはここです。 住居や学生生活全般についての相談もここです。</p> <p>香港版ぐるなび。</p> <p>大学の外のアクティビティはここで見つけましょう。</p> <p>香港の観光情報が沢山載っています。</p> <p>香港に関する様々な情報を日本語で得ることができるサイトです。</p> <p>香港で日本人の社会人訪問をしたいという方はいってみましょう。</p>
---	---	--

## 6. その他の特記事項

・香港の日本人留学生向けのサイトを作りました。役立つ情報を載せていきたいと思ひます。

<https://wordpress.com/pages/tak1124.wordpress.com>

・奨学金を貰っている人は担当教官のサインをもらう必要があると思ひますが、基本的に「Global Lounge」のスタッフにお願いすればその場で書いてもらえます。

(新学期が始まったばかりの頃、工学部の事務室に行ってサインを貰おうとしたのですが、いろいろな所をたらい回しにされた挙句、一週間ほど経ってもサインを貰えませんでした。)